

■ 各教育段階に応じた「小・中・高等学校一貫したふるさと教育～地域の魅力を知り、課題を発見、解決～」を推進

小学校

中学校

✓ 地域を学ぶ体験活動

(低学年) (中学年) (高学年)

(1年→3年)

校区を見る

身近な地域・市町村を知る

岐阜県の歴史や文化を知る・調べる

自らが生活する地域の魅力や課題を見つけて考える

「ふるさと岐阜」の
魅力を知る

高校

✓ 小学校・中学校で学んだ知識をベースに、
地域の課題解決に向けて動く

現在の取組を推進・発展させるとともに、課題のある学校の取組強化

<専門高校>

- 専門高校と産業界等との連携を通して、「ものづくり」や「食・くらし」を支え、地域の資源（恵み）を活用した取組を発展させ、地域産業を担う専門的職業人を育成

<活性化が求められる高校>

- 生徒数の動向から活性化が求められる高校について、学校と地域を強く結びつける活動を通じて、地域の魅力を知り、課題を発見・解決する学習を推進

<普通科高校>

- 選抜制の高い大学への進学が多い高校において、地域課題解決型の探究的な学習を推進するため、スーパーグローバルハイスクールや理数教育フラッグシップハイスクール指定校に加えて、未指定校を新たに指定
- いわゆる中堅進学校に協議会を設置し、関連する自治体、高等教育機関や企業等との協働により、地域の魅力を知り、課題を発見・解決する学習を推進

「ふるさと岐阜」の
魅力を深く知る機会の充実

高校の特色に応じたふるさと教育を全学校で展開

■ 学校のICT環境整備とICTを活用した学習活動の充実

あらゆる学習の基盤となるICT環境整備

情報活用能力*の育成

*情報活用能力
必要な情報を収集・判断・表現・
処理・創造し、受け手の状況など
を踏まえて発信・伝達できる能力

新たな学びの推進

- ・子どもたちが分かりやすい授業を実現
- ・自分の能力や特性に応じた学び
- ・グループや学級全体での発表・話し合い

教科の指導におけるICT活用

児童生徒の道具（文具）としてのICT活用

- ・インターネットを用いた情報収集
- ・グループでの分担、協働によるレポートの作成
- ・遠隔地や海外の学校等との交流事業

教職員の働き方改革の推進

校務のICT化による教職員の業務負担軽減

- ・教職員間での資料や教材の共有化
- ・ICTによる校務の標準化と校務支援システムの活用
- ・Web会議やe-Learning等を活用した研修

ふるさとをテーマにした
地域課題探究型学習の推進
（プロジェクト型学習）

主体的・対話的で深い学び
アクティブ・ラーニング
の実現

学習指導要領の改訂や新大学入試制度への対応にはICTを活用した授業が必要